

No.1135(二〇一三年一月一日号)から
No.1158(二〇一三年二月二十五日)まで

No.1135 (二〇一三年一月一日)

◇巻頭言◇ 原子力・軍事マフィアに勝つ道

―自治体議員づくりと共同戦線―

労働者階級は八〇%超なのに ―第四六回総選挙結果から―

「チエルノブイリ視察」から日本が見えた

―脱原発 子ども達の未来をともし灯り―

私のなかの「釜鶴松」「渡嘉敷良子」に出会うために

もつと幅広く幟、ゼッケンをもって

―運動の広がりと推進派の虚言―

「中間層」という虚構 ―現代労働情勢と運動の課題(中)―

読者からのおたより

編集部だより

原野人

照井モト

毛利孝雄

渋谷澄夫

滝野忠

No.1136 (二〇一三年一月十五日)

◇巻頭言◇ 新社会党らしい反原発闘争の理論と実践の書

―原野人著「確かな脱原発への道」を読んで―

―「原発推進派自民と対峙」で盛り上がり―

―「第二回」脱原発サミットin茨城―

未来への展望を切り開こう

―資本主義としっかりたたかう―

「混乱」必至、足元から組織つくれ ―「パンとサーカス」の時代はどこへ―

失業 資本主義を揺り動かす最大の矛盾 ―現代労働情勢と労働の課題(下)―

「政治安定・原発推進」「国家の相対化」「人間主義」

―二〇一三年 全国紙「社説」から―

読者からのおたより

相田邦夫

林哲

編集部

No.1137 (二〇一三年二月一日)

◇巻頭言◇ 「脱原発労働者宣言」運動 ―「三・一一」から二年―

日本経団連、金属労協、連合 ―現在「春闘」の構造―

三十年間の国鉄闘争の成果と教訓を広め

日本労働運動の再生に生かそう

今度こそ勝つ 原発止められる!

―東海第2原発 運転差し止め訴訟 第一回公判始まる―

疲れたら休もう

―職場交流会 統一アンケート(第二次労大峡東講座)から―

読者からのおたより

木山誠二

No.1138 (二〇一三年二月十五日)

◇巻頭言◇ 壮大なばらまき 総予算一〇五兆円、国債発行四兆

―安倍政権の経済財政政策―

◇資料1 安倍内閣への要望(日本経団連、二〇一二年十二月二六日)

当面の重点政策

「福島とつながる2・15労働者集会―原発NO! 憲法Yes!」案内
春闘 労働運動への基本視点

資料2 二〇一三年版経労委報告(日本経団連、二〇一三年一月二二日)

活力ある未来に向けてく労使一体となって危機に立ち向かう

◇沖繩からの報告◇「遅れて届く手紙」―「現場」が紡ぎ出すもの 毛利 孝雄

建白書 ―オスプレイ配備撤回、普天間基地の閉鎖・撤去、県内移設を断念!―

双葉町井戸川町長辞任と東海村 滝野 嘉津子

―廃炉・再稼働をめぐり激論 東海村「原子力委」―

読者からのおたより

No.1139 (二〇一三年三月一日)

◇巻頭言◇ ユニオン強化への「提言」

新自由主義反対は闘いの基軸になるか

―独占資本に反対し孤立させることこそ不可欠―

「反・脱原発」への基本視点 ―原野人さん 小出祐章さんに学ぶ―

不当な評価を撤廃せよ

―「日本郵便非正規労働者の権利を守る会」結成に百二十人超―

政治を楽しく考える ―どうなる安倍自民党政権とその矛盾の展開―

「絶対にあきらめない」―「上京行動」から思うこと

毛利 孝雄

―オスプレイ、普天間反対闘争―

読者からのおたより

編集部だより

No.1140 (二〇一三年三月十五日)

◇巻頭言◇ 福島原発事故で死者はいなかったか?

原野人

―二周年の実情と将来の懸念―

労働者意識を奪還することこそ

―思想そして運動を車輪として―

投機筋が安倍首相の命綱 ―安倍政権のゆくえ― 滝野 忠

労働運動再生への新たな息吹 ―脱原発労働者集会「脱原発労働者宣言」―

資料1 脱原発労働者宣言(要旨)

資料2 福島とつながる原発NO! 憲法YES! 二・一五労働者集会に寄せて(要旨)

―被ばく労働者に安全と権利を!―

戦後レジュームの転換を

稲村 守

いじめ・不登校・自殺、学校教育の問題を社会的視点から考える

―二・一一滋賀集会から学ぶ―

読者からのおたより

No. 1141 (二〇一三年四月一日)

◇巻頭言◇「脱原発」へ さまざまな意見

―フクシマを考える新得(北海道)の集い―

「二重の被害」―3・11から二年、被災者は―

闘い半ばで チャベス死去

―ベネズエラに後戻りはない―

「脱原発」どう行動、運動するか

―東京での「三つの集会」から―

安倍政権 執拗に財界に「賃上げ」要請

―二〇一三年春闘の諸特徴―

◇資料と解説◇

九労組 TPP交渉参加に「懸念」表明

◇資料◇

四つの大きな懸念 国民的論議つくせ

政府のTPP交渉参加表明に対する声明(九労組、三月一日)

労働運動再生へ 『労働運動研究フォーラム』始動

読者からのおたより

お詫びと訂正

佐野 周二

編集部

伊勢 太郎

滝野 忠

No. 1142 (二〇一三年四月一日)

◇巻頭言◇

働きすぎ労働と雇用不安は、なぜ起こるのか?

―五年かけて資本主義の仕組みを勉強―

水に浮いた脂(あぶら) 国際金融情勢

―キプロスが語るもの―

「労働運動研究討論集会」に望む

「違憲判決」国会は違法で無効

―国会に統治の資格なし―

原発事故ぬきの震災対策

―東海第二原発と茨城の地方自治体―

これじゃ東京と変わらない

―鹿児島県ホットスポット測定ツアー―

土井さんと村山さんと社会文化会館

―小森龍邦さんと澤地久枝さんが語る―

独占資本とはどんなものか

―独占利潤はどこから―

素晴らしい生き方を示してくれた!

―六十三歳 ヤマトンチュの沖大生―

読者からのおたより

三本木 哲

杉森 弘之

「まちづくり8・6ニュース」

春野寒月

原 野人

No. 1143 (二〇一三年五月一日)

◇巻頭言◇ 会派名「新社会党」で真つ向活動

― 初当選から一年―

「自殺」

石田博文著『水俣病と労働者』のすすめ

資本家流統計のウソ ― 一週間一時間働いた者は失業者にあらず―

怒りの二年が過ぎた ― 命と原発 ― どちらが大事―

マドロロ 当選 ― ベネズエラ大統領選から―

◇資料と解説 二〇一三年春闘妥結見解(相鉄労組) ◇

連合春闘と職場の闘い

ドイツの労働組合はどう違うか

― 持続可能なエネルギー政策をめぐる―

◇資料 「北海道新聞」二〇一三年三月三十一日◇

元国労闘争団員一〇人、一〇〇〇万円ずつ出資

仲間と若者に雇用の場 和解金で老人ホーム 旭川・あす開設

読者からのおたより

鈴木 勉

大山 元

原 野人

No. 1144 (二〇一三年五月十五日)

◇巻頭言◇ 首切り「自由化」 裏と表(一)

あふれる汚染水をどうする

― 国際マフィアの登場と原発推進新基準―

現代の政治情勢と憲法改悪への視点(上)

労働運動再生に向けて、何をすべきか ― 労働運動研究討論集会から―

バリアフリーな公共交通を求めて： ― 難航するJRとの話し合い―

「維新現象」の本質と政界 ― 現代の階級構成と政党―

読者からのおたより

編集部

滝野 忠
原 野人

伊勢 太郎

No. 1145 (二〇一三年六月一日)

◇巻頭言◇ 多くを教える安倍経済使節団

― 原発輸出を「成長戦略」の根幹に―

二層制から三層制へ

― 首切り自由化 裏と表(下) ―

デフレからの脱出は困難

― 日銀「量・質両面の金融緩和」実態と現状―

岩見ヒサさんの活動で

― 岩手に原発がないのは偶然ではなかった―

「機械が仕事を次々奪う」

― 「ラッダイト」的機械観の蒸し返し―

原発ゼロめざし 三つの組織が協力

― 六・二 NO NUKES DAY―

◇オキナワだより◇ 卒業・卒論、そして近況

読者からのおたより

小林 晃

照井 モト

伊勢 太郎

滝野 忠

原 野人

毛利 孝雄

No. 1146 (二〇一三年六月十五日)

◇巻頭言◇ 日本 三つの憲法と背景

絶望の砂漠を、希望の「水と緑」に！

―ペシャワール会・中村哲医師の「九条精神の国際貢献」に圧倒―

黙っていられない

山下 けいき

―日本の奨学金制度―

NTT職場の今と私の闘い(一)

田原 博

―職場の不平・不満を一緒に取組もう―

加速器実験施設の事故

―原野人氏のコメント―

◇資料1 毎日新聞茨城版 二〇一三年五月二十九日

東海村の原研施設放射能漏れ 市民団体の申し入れ

第三者委設置を検討 機構表明 / 茨城

◇資料2 日本経済新聞二〇一二年一〇月二十八日抜粋

がん細胞、中から壊せ―ホウ素+中性子、実用化射程

小型加速器・病院は安全か

―放射能漏れ事故に思う―

九六条憲法改悪に保守内部からも異論

編集部

―現代政治情勢と憲法改悪への基本視点(下)―

闘士・鴨ももよを参議院に送ろう

読者からのおたより

No. 1147 (二〇一三年七月一日)

◇巻頭言◇ 労働組合大会そして参院選

編集部

―連合労働運動の矛盾は拡大―

株式会社バブルと取引所

伊勢 太郎

―安倍の金融・財政・成長政策のゆくえ―

NTTの人事・賃金制度改悪の実態

田原 博

―NTT職場の今と私の闘い(二)―

小出先生招き学習会

佐野 周二

―北海道「さよなら原発新得会」―

「すごい」職場になってきた―郵政職場の今

大阪郵政労働運動研究会

フクシマの人たちの今

―「講演会&デスカッション・写真展」茨城県東海村で開催―

日本の社会主義政党を混迷させる二冊の本

稲村 守

―伊藤誠『日本経済はなぜ衰退したのか』と松竹伸幸『憲法九条の軍事戦略』―

読者からのおたより

No. 1148 (二〇一三年七月一五日)

◇巻頭言◇ 資本の作用にはかならず労働者から反作用

— 労働者意識はよみがえる —

日中問題の一断面

— 旧友からの便りと返信 —

少数派労組の利点を生かし活動

— NTT職場の今と私の闘い (三) —

都教委よ、今年は、高校日本史教科書の採択を妨害するな!

労働者にガマンを強い、利潤をため込む独占資本

東海村—再稼働めぐり攻防始まる

— 「講演会&デスカッション・写真展」茨城県東海村で開催 —

ユニオンネットお互いさま 「現状と課題」

— 結成から五年 —

読者からのおたより

滝野 忠

原 野人

田原 博

増田 都子

本村 充

No. 1149 (二〇一三年八月一日)

◇巻頭言◇ フクシマの現実に取りそい考えよう

— 原発は、電力会社の経営ではなくいのちの問題 —

食糧難克服 市民の暮らし表情に余裕も

— 朝鮮民主主義共和国を訪ねて —

伊藤誠著『日本経済はなぜ衰退したのか』をどう読むか

政治、社会改革に哲学必要

— 小森 龍邦氏 (元衆院議員)、日本の政治を語る —

自民大勝、しかし参院過半数に届かず

— 脱原発候補 東京で山本太郎氏当選 —

事業は拡大、表情に自信と明るさ

— 「元国労闘争団を訪ねる旅」 〓 弥次喜多道中 (二) —

読者からのおたより

お知らせ 次号No.1150号 (八月十五日発行) は発送日を早め、八月三日局出し予定です。

あいざわ 一正

小林 義昭

野崎 佳伸

蓑輪 泰臣

No. 1150 (二〇一三年八月一五日)

◇巻頭言◇ 独占資本と国家独占資本主義 (一)

野崎論文をどう読むか

覚悟はしてだが、きわめてショッキングな結果

— 労働組合大会はじまる (一) —

ecoおといねっふ サンピア いこいの里

— 事業は拡大、表情に自信と明るさ (二) —

読者からのおたより

蓑輪 泰臣

編集部だより

No. 1151 (二〇一三年九月一日)

◇巻頭言◇ フクシマの人たちは今

―原発事故から二年―

脱原発の根源的な捉え方

―相沢一正氏の認識共有を―

麻生財務大臣の虚言

参院選、春闘、電機連合 ―労働組合大会はじまる(二)―

大野平和運動センターで大活躍

―元大分闘争団・赤峰さん家への旅(上)―

マルクス、エンゲルスの「告白」

―エンゲルス没一〇八年から―

「集団的自衛権」の解禁は、戦争への道

―『集団的自衛権とは何か』(豊下檀彦著、岩波新書)を読む―

読者からのおたより

杉森 ひろゆき

花井 吉宅

滝野 忠

伊勢 太郎

森 勉

No. 1152 (二〇一三年九月十五日)

◇巻頭言◇ レベル7は続いている

―破綻した糊塗策に代えて何が必要か―

二人の偉人 性格と人柄

―マルクス、エンゲルスの「告白」―

エンゲルスの『空想より科学へ』を学習するに当たって

―伊藤誠先生の、恐慌感と今後の見解について―

反動の嵐のなか 大きな勝利(豊後大野市長選)

―赤峰さん 市長選、県議選に大活躍(下)―

「安全」の大合唱、国鉄分割民営化の「ツケ」

―JR三労組、そして私鉄総連 組合大会から(三)―

国鉄分割民営化のツケ

―JR北海道 事故多発の真因―

読者からのおたより

松里 福慈

鈴木 賢二

滝野 忠

伊勢 太郎

原 野人

No. 1153 (二〇一三年一〇月一日)

◇巻頭言◇ 「反合理化研究会」再構築を

―渡邊和彦氏を悼む

実態から学び未来を描く ―山形・おきたまユニオンそして第二五回全国交流集会―

精神こわれるまで働けない

―学校が壊れる！教職員が壊れる！子どもが壊れる！―

旅はつづく 札幌へ

―松里、木山氏と楽しい語らい―

正当な理由なし！JALの不当解雇

独占資本と国家独占資本主義(二)

読者からのおたより

小林 晃

滝野 忠

教員 A

金平 博

No.1154 (二〇一三年一〇月一五日)

◇巻頭言◇ 原発爆発の犯罪者 東電そして自民党

佐野 周二

—小出裕章講演会、新得空想の森映画祭—

愚弄される福島県民、新潟県民そして全国の労働者

原 野人

—独占資本は限りなく奪う—

職場には、具体的な不満と問題がいっぱい！

—国労東京地本大会 若い人は、国労のたたかう背中を見ている！—

参院選結果に衝撃 背後に搾取強化

—組合大会から 自治労、J P 労組、U Aゼンセンなど(四)—

福島原発事故とJ C O臨界事故をつなぐ —被ばくと被害の闘いから脱原発へ—

福島原発事故被災地と 廃炉先進国ドイツの取材報告

—「福島現地を踏破して」広瀬隆さん講演会 茨城・東海村で—

◇資料 「口頭弁論で伝えたかったこと」 北電は私の質問に答えて！◇

未来は私たち子どももの いい加減目をさませませんか

読者からのおたより

No.1155 (二〇一三年一月一日)

◇巻頭言◇ 奇人・変人、野人となるか？ —小泉元首相の過去と現在—

原 野人

国労上野支部反合研合宿 —資本主義的合理化と闘うために—

滝野 忠

—『通信』「イケイケゴーゴー」号への贈り物—

「新自由主義」批判の大合唱 —組合大会から(五) 連合、全労連、全労協—

稲村 守

あいつ野に平和を！オスプレイ使用を認めない

小林 晃

—9・29あいつ野日米合同軍事演習反対現地集會に八百人—

小林 晃

独占資本と国家独占資本主義(三)

小林 晃

読者からのおたより

No.1156 (二〇一三年一月一五日)

◇巻頭言◇ 安倍内閣の危機意識の現れ —財界への「お百度参り」— 伊勢

太郎

たたかいは労働者成長の力

滝野 忠

—第二五回コミュニティ・ユニオン全国交流集會から—

国鉄分割民営化と電産分割 —資本の考え方は変わらない—

佐野 周二

◇資料と解説◇ J R北海道重大事故に関連して

—国鉄労働組合中央本部・国鉄労働組合北海道本部

J R北海道の一連の事故に対する見解

J R北海道で多発する事故及び不祥事に対する見解

全日本鉄道労働組合総連合会 (J R総連)

安全は全てに優先する！

—ここそ原点に立ち返り、徹底した原因究明で鉄道輸送の信頼を取り戻そう！—

東海村の今、仲間のたたかい

—川野弘子さんを訪ね、J—P A R Cの住民説明会に参加して—

相沢 一正

東海第二原発の再稼働を許さない —新たな取り組み開始—

列車見張り(74歳)が触車 —あつてはならない事故は、なぜ起こったか？—

私の職場 たいへん なんです

読者からのおたより

No.1157 (二〇一三年二月一日)

◇巻頭言◇ 春闘 過去と現在

日本航空の稲盛和夫名誉会長に要請文
責任ある誠実な対応を求めます

— JAL 不当解雇撤回裁判結審は十二月—

「背骨」なくして再生なし

つぶされない組織化

— ユニオン全国交流集会第五分科会—

アラブの現状

— アラブ諸国、イスラム教について—

『社会通信』ホームページ開設と『本誌』発行体制の変更について

『本誌』発行体制の変更「見本」(表紙—もくじ)

フクシマの現実から目をそらさない新村政を期待

— 東海村第3回定例議会 あいざわ一正村議の一般質問から—

読者からのおたより

滝野 忠

坂本 繁雄

編集部

No.1158 (二〇一三年二月十五日)

◇巻頭言◇ 『社会通信』ホームページ開設と

『本誌』発行体制の変更について

『原子力政策大綱』と原子力委員会の責務

— 小泉氏の狙いと自民党のゆくえ

悔し涙こぼれる

立花 創 覧

— 北教組運動の現状—

さあ、国労らしく、闘いの一步を踏みだそう!

— 職場の焦点は、要員不足—

私でよかったですら呼んでください!

— 「毛利孝雄(mochan)の沖縄レポート」協力をお願い—

人間的成長を求めて

滝野 忠

— 信州 松本、小布施、飯綱、長野への旅—

読者からのおたより